

児童発達支援「キッズすてっぷかいぜ」評価結果

改善内容・改善目標

公表：令和 3 年 11月 1日

	チェック項目	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか 活動の用途や児童の状況によってスペースを区切る、個室を使用するなどの工夫はしている。
	2	職員の配置数は適切であるか 基準を満たす配置はできている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか 視覚的な支援を取り入れて児童が過ごしやすいように配慮している。事業所で過ごすうえで個々に合った空間を提供できるようにパーティションで仕切ったりなどの配慮を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか 清掃・消毒は日々行っており、衛生管理に努めている。児童が活動しやすいように物の配置を考えたり、移動させたり日々職員間で話し合いながら取り組んでいる。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか 職員間で話し合いを行いながらスムーズに業務ができるように努めている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか 保護者様向けのアンケート調査を実施し、業務改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか 毎年、自己評価と保護者様のアンケートを集計し、事業所のホームページに掲載し結果を公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 必要時に外部からの講師を呼んで評価をしてもらっており、今後の支援に活かしている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか 社内研修を再開し、今後の支援に繋げていこうとしている段階である。社外研修も参加できる時は参加している。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 定期的に児童の保護者には近況や課題やニーズを聞き、計画書の見直しを行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか 年に1度保護者様にアセスメントシートを書いて頂き、状況やニーズの把握をして支援に活かしている。

適切な支援提供

12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	ガイドラインを見ながらその子に合った支援内容を設定し、支援を行えるようにしている。
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	計画書を見ながら目標などを確認し、支援を行うようにしている。記録を書く際も計画書を見て目標に沿った支援ができているかを確認しながら書いている。
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	ミーティングを行って活動内容を設定している。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	定期的に活動内容の見直しを行っている。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	子どもの状況を見て支援計画書を作成している。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	午前中など子どもがいない時間を使ってその日の確認を行っている。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	送迎終了後にその日の出来事を情報共有したり、振り返りを行っている。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	個人記録を書くようにしており、日々の様子がわかるようにしている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	半年1回程度の周期でモニタリングを行うようにしている。またその時の状況で支援計画書を作成している。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	基本的には児童発達支援管理責任者が参加するようにはしているが、場合によっては現場の職員が参加する事もある。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	必要に応じて状況報告や相談を行うようにしている。

関係機関や保護者との連携

23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	医療的ケアが必要な児童の受け入れが現在はない。今後対象児が利用を希望された際は体制を整えていく。
24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	対象児がないので連絡を取る事がない。
25	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	必要に応じて状況報告や相談を行うようにしている。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	必要に応じて状況報告や相談を行うようにしている。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	必要な時は連携を図っている。また、リモートでの研修などがある時は参加したりしている。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在はコロナの影響もあり、交流自体ができていない。
29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	案内があった際は極力参加するようにしているが、全員参加はせず、選抜して参加している。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳を活用したり、送迎時に日々の状況について話をする事がある。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	相談があった際は助言などをする事があるが、ペアレント・トレーニングを実施しているとまではいかない。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	利用契約時に説明を行っており理解を得ている。

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	計画書を作成する時にその都度説明を行い、同意を得るようにしている。また、保護者様の方で追加してほしい事や意見がある時は柔軟に対応し作り変えるようにしている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談があればその都度対応するようにはしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	コロナの影響もあり、保護者会のようなものを開催できていない。今後状況を見て開催できればと思う。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	できる範囲の事であれば迅速に対応するように努めている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	日々の様子はブログやお便りで知らせるようにしている。また、緊急時にはLINEなどの連絡ツールを使用し、保護者様と連絡を取りやすくするように工夫している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	1人1人が十分に気をつけながら個人情報の取り扱いをしている。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	口頭で伝えてわかりづらい、忘れてしまうといったご家庭に対しては書面で記すなど視覚的な支援を取り入れて配慮している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現状ではコロナの影響もあり実施できていない。	
	非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	マニュアルは作成しているが、それに沿った訓練は行っていないので今後取り組んでいきたいと思う。
		42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年に2回避難訓練を実施している。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	利用開始時にアセスメントシートを記入してもらい、その中で服薬、予防接種、てんかん発作の有無に関して聞き取りを行っている。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	重篤な食物アレルギーの児童はいないが、アレルギーがある児童に対しては保護者様に指示を仰ぎ、対応するようにしている。Drの意見書が必要な児童は現時点ではない。	

対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットは事例が起きた時に書くようにしており、事業所内のミーティングの際に上げるようにしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待に関しては市や県などの行政機関が開催する研修に参加したりしている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	現時点では身体拘束をしなければならないような児童は利用していない。